

2021 年 8 月 2 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【電気機器】他社牽制力ランキング 2020

トップ 3 はパナソニック、東芝、三菱電機

弊社はこのほど「電気機器業界」を対象に、2020 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「電気機器業界 他社牽制力ランキング 2020」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2020 年に最も引用された企業は、1 位 **パナソニック**、2 位 **東芝**、3 位 **三菱電機**となりました。

【電気機器業界 他社牽制力ランキング 2020 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	パナソニック	12,195
2位	東芝	6,389
3位	三菱電機	6,055
4位	日立製作所	5,591
5位	ソニーグループ	4,747
6位	シャープ	4,550
7位	富士通	3,394
8位	NEC	3,034
9位	三洋電機	2,302
10位	京セラ	1,830

※当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2020 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2020 年 1 月から 12 月末までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。

本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2021 年 5 月 1 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1位 **パナソニック**の最も引用された特許は「半導体発光素子の製造方法および光源装置」に関する技術で、ディスコの「発光ダイオードチップの製造方法」など計30件の審査過程で引用されています。このほか「高密度実装用基板の判定方法と実装方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、大一商会の「遊技興趣の低下を抑制することができる遊技機」など計12件の拒絶理由として引用されています。

2020年に、パナソニックの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は三菱電機(545件)、次いでキヤノン(218件)、シャープ(203件)となっています。

2位 **東芝**の最も引用された特許は「投影した画像の形状の歪みを抑え、また適正な大きさの画像を投影できる画像処理装置」に関する技術で、ユニバーサルエンターテインメントの計12件の審査過程で引用されています。このほかには「発光効率が高く、発熱が低減された半導体発光素子」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、ディスコの計8件の拒絶理由として引用されています。

2020年に、東芝の特許により影響を受けた件数が最も多い企業は三菱電機(202件)、次いでパナソニック(162件)、キヤノン(139件)となっています。

3位 **三菱電機**の最も引用された特許は「小形軽量に構成でき、台車が不要で、使用上の便利さを向上した移動式空気調和装置」に関する技術で、ダイキン工業の「メンテナンスが容易な屋外空気調和装置」関連特許など計8件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2020年に、三菱電機の特許により影響を受けた件数が最も多い企業はパナソニック(327件)、次いでダイキン工業(176件)、東芝(165件)となっています。

4位 **日立製作所**は「映像、音声などのデジタル情報を媒体へ記録することに関し、制限を与えた情報受信装置」、5位 **ソニーグループ**は「半導体イメージセンサ・モジュール及びその製造方法」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【電気機器業界 他社牽制力ランキング 2020 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 50 社：本業界の被引用件数上位 50 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL : 03-5802-6580 FAX : 03-5802-8271 HP : <https://www.patentresult.co.jp/>